

平成 30 年度 当初予算案の概要 ～ 稚内市 ～

- 稚内市当初予算案の概要・・・・・・・・・・・・ 1
- 3月補正（繰越明許費等）について・・・・・・・・ 4
- 市制施行 70 年・開港 70 年記念実施事業・・・・ 7
- 日本のおてっぺん応援基金の活用について・・・・ 8
- 主な新規・拡充事業【4つの基本方針別】・・・・ 9
- 一般会計歳入予算案【款別】・・・・・・・・・・・・ 14
- 一般会計歳出予算案【款別・性質別】・・・・・・・・ 15
- 一般会計歳出予算案【節別】・・・・・・・・・・・・ 16



稚内市当初予算案の概要

1. 予算の規模

① 一般会計	234 億 5,100 万円
② 特別会計	70 億 2,240 万円
③ 企業会計	122 億 4,100 万円
(計)	427 億 1,440 万円

(単位：千円、%)

会計区分	平成 30 年度 (a)	平成 29 年度 (b)	比較増減 (a) - (b) = (c)	増減率 (c) / (b)
①一 般 会 計	23,451,000	23,195,000	256,000	1.1
臨港用地造成事業会計	8,900	10,200	▲1,300	▲12.7
国民健康保険事業会計	3,477,500	4,441,900	▲964,400	▲21.7
公設地方卸売市場事業会計	40,200	40,300	▲100	▲0.2
介護保険事業会計 (保険事業勘定)	2,879,800	2,849,400	30,400	1.1
介護保険事業会計 (介護サービス事業勘定)	17,900	17,700	200	1.1
港湾整備事業会計	123,200	140,900	▲17,700	▲12.6
後期高齢者医療会計	474,900	453,300	21,600	4.8
②特別会計 計	7,022,400	7,953,700	▲931,300	▲11.7
病院事業会計	7,485,000	8,144,000	▲659,000	▲8.1
水道事業会計	2,279,000	2,313,000	▲34,000	▲1.5
下水道事業会計	2,477,000	2,632,000	▲155,000	▲5.9
③企業会計 計	12,241,000	13,089,000	▲848,000	▲6.5
①+②+③ 総計	42,714,400	44,237,700	▲1,523,300	▲3.4

2. **一般会計 234 億 5,100 万円（対前年度予算比 1.1%）**

平成 30 年度経営方針に基づき、市政運営の柱として掲げた 4 つの基本方針の達成と総合計画に掲げる将来都市像「人が行き交う環境都市わっかない」の実現を目指し、各施策や事業の目標達成に向けて、着実にそれぞれの取り組みを進めるとともに、より確実な執行管理を念頭においた予算編成を行った。その結果、一般会計において、234 億 5,100 万円となり、前年度と比べ、2 億 5,600 万円（1.1%）の増となった。

（1）歳入

一般財源の根幹である市税収入においては、固定資産の評価替えの影響などにより減少する見込みであるものの、当初ベースにおいては、地方譲与税や地方消費税交付金などの一般財源が、1 億 1,548 万円の増加と見込んでいる。

一般財源の財源対策としては、財政調整基金と地域経済活性化対策基金のほか、日本のてっぺん応援基金を活用している。

（同基金繰入額 前年度 9 億 4,400 万円⇒今年度 10 億 2,039 万円 7,639 万円増）

なお、平成 30 年度の普通交付税は約 66 億 7,000 万円と見積もり、今後の補正予算への財源とするため、約 6 億 9,600 万円を留保している。

（2）歳出

予算規模（対前年度 2 億 5,600 万円増）については、「廃棄物処理施設建設事業」や「宗谷港船舶上架施設整備」などの「普通建設事業費」が 4 億 130 万円の増、病院事業会計などに対する「負担金補助及び交付金」における「補助費等」が 1 億 8,154 万円の増となったものの、減少については、主に公債費が 1 億 8,537 万円、投資及び出資金が 1 億 9,379 万円の減となり、さらに、経常経費については、住民サービスに支障をきたさぬことを大前提として昨年度から導入した枠配分方式を継続して実施した。

今年度においても、国・道支出金をはじめ、ふるさと納税による日本のてっぺん応援基金等の特定財源を有効に活用させていただくとともに、ご寄附をいただいた皆さまのご意向も、しっかりと反映させた予算編成とした。

歳出予算に必要な一般財源の比較では、対前年度 1 億 8,212 万円の減となっている。

（歳出予算一般財源比較 前年度 140 億 5,263 万円⇒138 億 7,051 万円）

【次ページ「一般会計当初予算案の規模と一般財源の比較」参照】

■普通建設事業の増減比較

○平成 30 年度当初予算

24 億 5,819 万円

○平成 29 年度当初予算

20 億 5,493 万円

（対前年度 4 億 326 万円増）

～普通建設事業内訳比較～

補助事業 1,726,688 千円

単独事業 507,716 千円

負担補助 50,849 千円

負担単独 172,940 千円

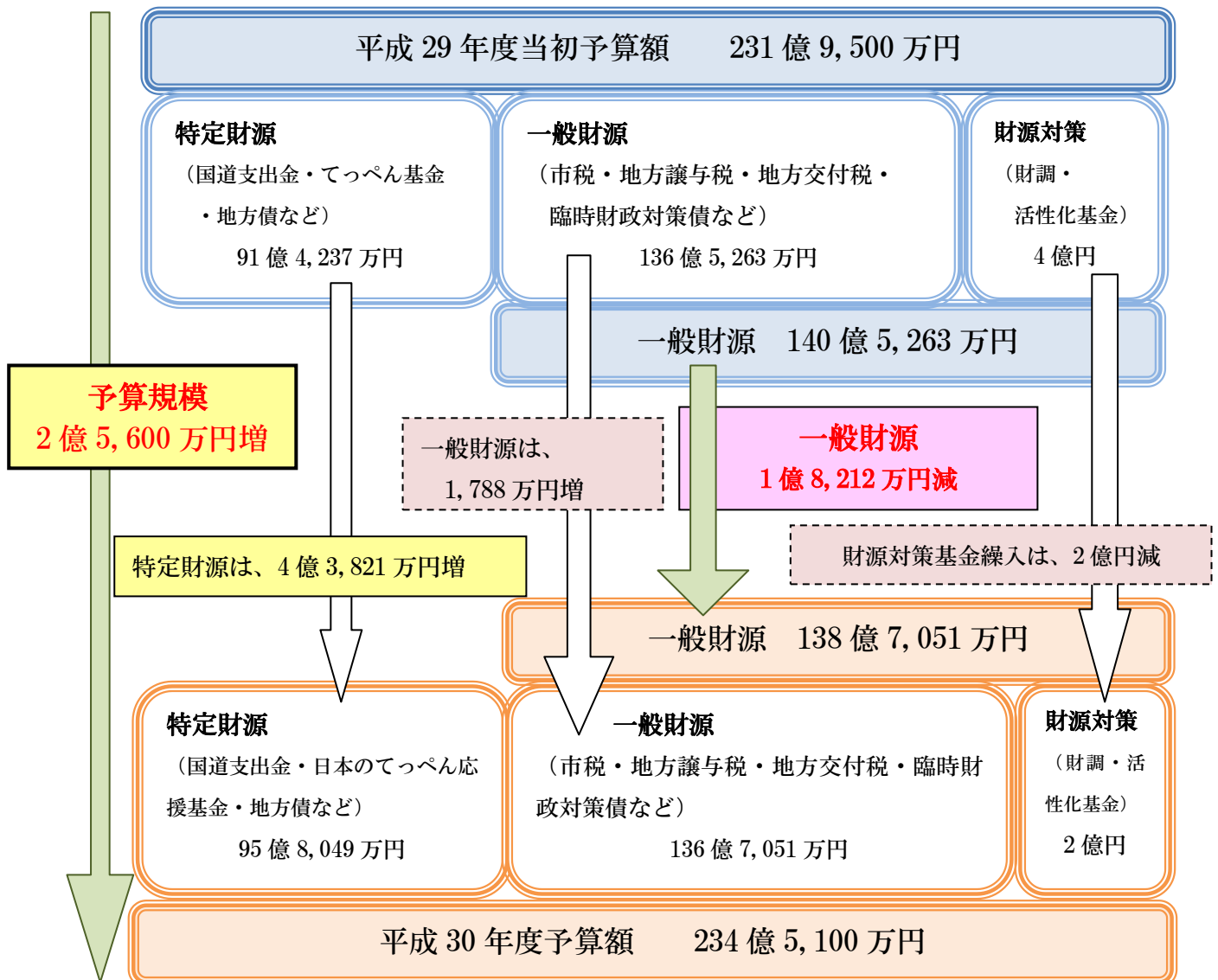
補助事業 980,469 千円

単独事業 922,948 千円

負担補助 42,465 千円

負担単独 109,052 千円

一般会計当初予算案の規模と一般財源の比較



■目的別による予算規模の増減（対前年度 2 億 5,600 万円増）の主な要因は、

- 「廃棄物処理施設建設事業」3 億 1,183 万円の増、
- 「宗谷港船舶上架施設整備事業」2 億 6,532 万円の増、
- 「病院会計繰出事業」1 億 2,760 万円の増、

■性質別予算では「普通建設事業費」が 4 億 326 万円、「補助費等」が 1 億 8,154 万円増加、「公債費」と「投資及び出資金」合わせ 3 億 7,915 万円減少。

■一方、歳入においては、国・道支出金をはじめ、日本のおてっぺん応援基金といった特定財源を有効活用し、歳出予算に必要な財源を調整しながら予算編成に努めた。一般財源の対前年度比較は、1 億 8,212 万円の減。

（歳出予算一般財源比較 H29 年度 140 億 5,263 万円⇒H30 年度 138 億 7,051 万円）

■なお、歳入不足は、基金繰入金において対応している。

3月補正（繰越明許／債務負担行為）について

平成 29 年度 3 月補正において、国の補正予算等に伴う各種事業予算を計上しており、繰越明許費や債務負担行為の設定により、実質的に平成 30 年度事業となります。

補正予算総額 17 億 6 千 146 万 4 千円

（債務負担行為設定額を除く）

1. 国の補正予算を活用した事業 15 億 3 千 939 万 7 千円

（1）国の補正予算のうち繰越明許費とした事業（7 千 644 万 2 千円）

- 稚内第 2 地区道営草地整備事業 22,500 千円
- 沼川地区道営草地整備事業 11,500 千円
- 稚内空港整備国直轄事業 42,442 千円

（2）国の補正予算のうち継続費の逡次繰越とした事業 （14 億 286 万 5 千円）

- みどり公園整備事業 20,000 千円
- 稚内南小学校整備事業 1,382,855 千円

（3）国の補正予算に伴い国庫債務負担行為（0 国債）を活用した事業 （6 千 10 万円）

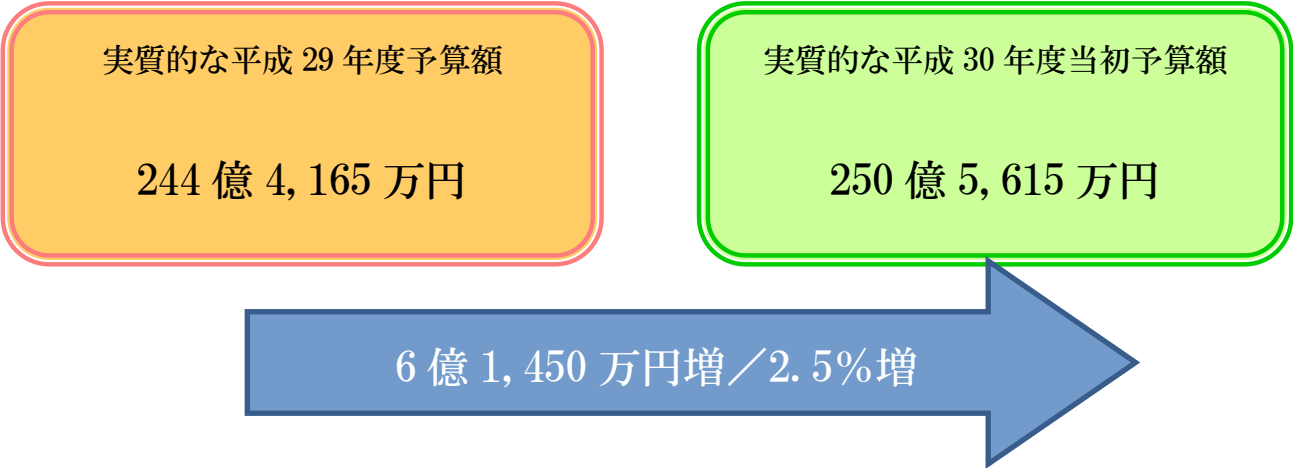
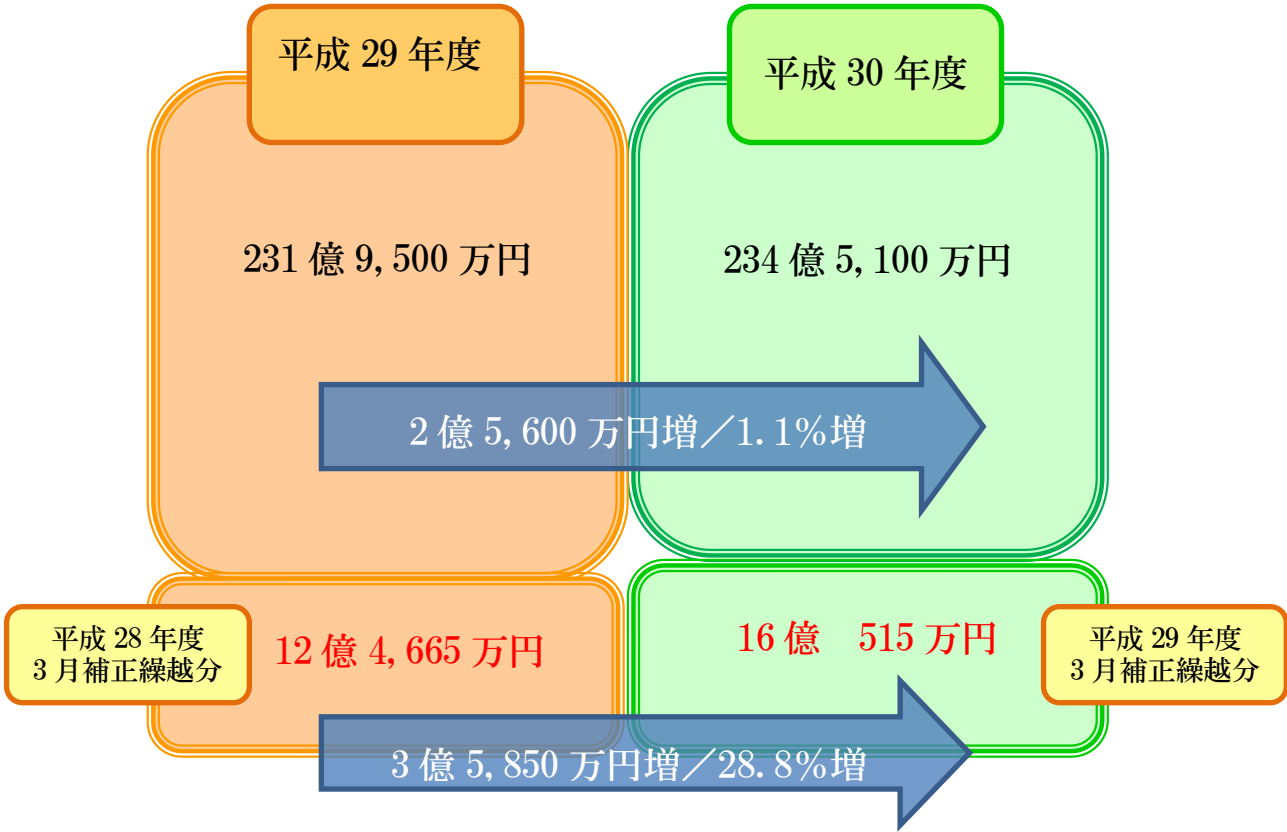
- 稚内港改修国直轄事業 11,500 千円（債務負担行為の設定）
- 宗谷港改修国直轄事業 6,300 千円（債務負担行為の設定）
- 稚内空港整備国直轄事業 42,300 千円（債務負担行為の設定）

2. その他の繰越事業 6 千 575 万円

- 緊急告知ラジオ等整備事業 49,750 千円
- 稚内港声問護岸災害復旧工事 16,000 千円

平成 30 年度当初予算案の規模（一般会計）
（各年度 3 月補正繰越分を加えた比較）

国の補正予算を財源として活用することにより、前年度からの繰越予算を含めた「実質的予算」は以下のとおりとなります。



3. 特別会計及び企業会計

(1) 特別会計 70億2,240万円 (対前年度予算比 ▲11.7%)

臨港用地造成事業会計・・財産貸付収入の減により、▲130万円 (▲12.7%) の減
国民健康保険事業会計・・都道府県単位化に関連する制度改定により、
9億6,440万円 (▲21.7%) の減
公設地方卸売市場事業会計・・工事請負費の減により、10万円 (▲0.2%) の減
介護保険事業会計 (保険事業勘定)・・給付費の増により、3,040万円 (1.1%) の増
介護保険事業会計 (介護サービス事業勘定)・・介護予防ケアマネジメント収入の増により、
20万円 (1.1%) の増
港湾整備事業会計・・引船整備費の減により、1,770万円 (▲12.6%) の減
後期高齢者医療会計・・後期高齢者医療広域連合納付金の増により、
2,160万円 (4.8%) の増

(2) 企業会計 122億4,100万円 (対前年度予算比 ▲6.5%)

病院事業会計・・建設改良費の減により、6億5,900万円 (▲8.1%) の減
水道事業会計・・建設改良費の減により、3,400万円 (▲1.5%) の減
下水道事業会計・・建設改良費の減により、1億5,500万円 (▲5.9%) の減

4. 地方債残高の見込み 377億1,451万円 (対前年度 5億5,308万円の減)

(1) 一般会計残高 253億5,034万円 (対前年度 7億6,358万円の減)

一般会計 ②⁹ 261億1,392万円 ⇒ ③⁰ 253億5,034万円

(2) 特別会計残高 2億9,671万円 (対前年度 2,751万円の減)

公設地方卸売市場事業会計 ②⁹ 3,576万円 ⇒ ③⁰ 2,986万円

港湾整備事業会計 ②⁹ 2億8,846万円 ⇒ ②⁹ 2億6,685万円

(3) 企業会計残高 120億6,746万円 (対前年度 2億3,801万円の増)

病院事業会計 ②⁹ 10億5,299万円 ⇒ ③⁰ 9億4,155万円

水道事業会計 ②⁹ 29億9,990万円 ⇒ ③⁰ 35億6,611万円

下水道事業会計 ②⁹ 77億7,656万円 ⇒ ③⁰ 75億5,980万円

5. 基金残高の見込み 29億1,069万円 (対前年度 5億2,910万円の減)

一般会計 ②⁹ 31億9,513万円 ⇒ ③⁰ 26億7,624万円

特別会計 ②⁹ 2億4,466万円 ⇒ ③⁰ 2億3,445万円

市制施行 70 年・開港 70 年

記念実施事業

- 市制施行 70 年・開港 70 年記念 記念式典事業 4,328 千円
・市制施行 70 年・開港 70 年を記念して、記念表彰などのセレモニーを行う。
- 市制施行 70 年・開港 70 年記念 公開番組誘致事業 269 千円
・NHKの公開番組「新BS日本のうた」を誘致予定。
- 「北の桜守」資料展示施設整備に係る経費 17,750 千円
・映画「北の桜守」の撮影ロケセットを資料展示施設として開館、記念してオープンセレモニーを行う。
- クルーズ船寄港に要する経費 7,360 千円
・大型クルーズ船「ばしふいっくびいなす」・「飛鳥Ⅱ」が稚内港に寄港、歓迎セレモニー等を行う。
- プロバスケットボール交流戦開催事業 5,511 千円
・Bリーグに所属するレバンガ北海道ほか1チームを招聘し、交流戦を開催する。
また、地元の子ども達向けに指導教室なども開催予定。
- 日本最北端わっかない平和マラソン大会開催費補助事業 31,204 千円
・最北の地におけるフルマラソン大会を開催、広く「わっかない」を全国に発信する。

日本のおてっぺん応援基金の活用について

■全国の皆様からいただいた寄附金について、平成30年度に活用可能な7億4,129万円のうち、6億9,170万円を下記区分の事業へ活用します。

【活用区分：32事業／691,700千円】 ※返礼品等経費328,690千円は除く

①教育・少子化対策（12事業／充当額：172,600千円）

- ◎ICT、中学校部活指導員等、教育環境の充実にかかるもの 26,600千円
- ◎中学生までの医療費無料等少子化対策にかかるもの 92,100千円
- ◎少人数学級（30人学級）・少人数指導にかかるもの 39,200千円
- ◎教育相談・不登校対策等にかかるもの 14,700千円

②国内・国際交流（1事業／充当額：9,500千円）

- ◎南中ソーラン全国交流祭にかかるもの

③福祉・医療（6事業／充当額：271,800千円）

- ◎医師確保対策及び救急医療機関の確保にかかるもの 197,400千円
- ◎重度障害者医療費対策（市単独上乗せ）にかかるもの 5,200千円
- ◎高齢者対策（バス・入浴支援・敬老祝金等）にかかるもの 69,200千円

④環境・新省エネルギー（1事業／充当額：41,300千円）

- ◎街路灯LED化にかかるもの

⑤地場産業振興（5事業／充当額：125,500千円）

- ◎広域観光周遊ルートなど観光活性化促進等にかかるもの 115,500千円
- ◎中小企業振興対策にかかるもの 10,000千円

⑥文化・スポーツ（1事業／充当額：3,000千円）

- ◎温水プール（水夢館）の機能充実にかかるもの

⑦市長が特に認める事業（6事業／充当額：68,000千円）

- ◎市制施行70年・開港70年記念事業にかかるもの 41,000千円
- ◎公共交通対策（宗谷本線活性化）にかかるもの 1,200千円
- ◎移住促進対策にかかるもの 3,100千円
- ◎コミュニティの推進にかかるもの 13,800千円
- ◎災害対策にかかるもの 8,900千円

主な重点事業

4つの基本方針別

I 「まちの可能性を実感し、未来を拓く市政」・・・⑧

- 産業の自立化と振興
- 国際化を目指した港湾の強化
- 未来志向のサハリンと経済交流の拡大
- 新エネルギーの推進と水素資源等の活用

II 「みんなが共感し合う市政」・・・⑨

- 笑顔が広がる子育て支援のさらなる充実
- 女性や若者の活力を活かしたまちづくりの推進
- 元気なお年寄りの社会参加への応援
- 誇りを持てる教育とスポーツの充実

III 「安心を実感できる市政」・・・⑩

- 医療と福祉環境の充実
- 防災対策の強化
- 交通ネットワークと冬の住環境の充実
- 健全な財政運営の継続

IV 「賑わいを実感できる市政」・・・⑪

- 外国人観光客の誘致・拡大
- 中心市街地の魅力の拡大
- 各種大会・会議の誘致・拡充
- 移住・定住の拡大

I 「まちの可能性を実感し、未来を拓く市政」

- 宗谷港船舶上架施設整備に係る経費 265,322 千円
 - ・宗谷港のリフト式船舶上架施設について、29 年度で実施設計を終え、30 年度は本体工事に着手し、31 年度竣工する予定である。
- 地域総合整備資金貸付事業 60,000 千円
 - ・地域総合整備財団の支援を得た民間事業者等に対し、設備投資のための資金の無利子貸付を行う。
 - 30 年度は給油船造船のための資金を貸し付ける。
- 稚内市中小企業振興助成金 10,000 千円
 - ・29 年度制定した、中小企業振興基本条例に伴う支援策として、「新規創業」や地元商品の新製品開発による「販路拡大」、「人材育成」に対する助成制度など、地元中小企業を応援する。
- ふるさと納税推進事業 328,690 千円
 - ・「ふるさと納税推進事業」における、返礼品等に要する経費。
 - 30 年度の寄附額を当初 6 億円と設定。
- 再生可能エネルギー地産地消モデル構築事業 64,466 千円
 - ・29 年 8 月に北海道から「エネルギーの地産地消事業化モデル支援事業」の計画認定を受け、再生可能エネルギーの地元での有効活用に取り組む。

Ⅱ 「みんなが共感し合う市政」

- **ICT環境整備事業 1,893 千円**
 - ・全小中学校にICT機器（実物投影機）を整備し、それを活用した授業を実施することによって、子どもたちの学力向上を図る。
- **部活動指導員配置促進事業 2,142 千円**
 - ・中学校における部活動指導体制の充実を推進するため、部活動指導員の配置に係る経費を補助する。部活動の質的向上を図るとともに、部活動を担当する教職員の軽減負担につなげる。
- **宗谷保育所改築に伴う経費 29,376 千円**
 - ・30年度は宗谷保育所の外構整備と、旧保育所建物の解体を行う。新保育所は4月供用開始予定。
- **生涯学習総合支援センター運営事業 14,757 千円**
 - ・旧商工高校を改修した「生涯学習総合支援センター」を4月に開設、これまでの社会教育センターの機能に加え、市内に点在する教育関係機関の集約により「いつでも・誰でも・気軽に」学べる施設運営を図る。
- **樺太記念館維持管理事業 11,789 千円**
 - ・全国樺太連盟から寄贈された資料の展示施設として、30年5月に開館。
樺太連盟関係者を招待し、オープンセレモニーを行うほか、有識者による講演会も開催予定。
- **プロバスケットボール交流戦開催事業 5,511 千円**
 - ・市制施行70年記念事業として、Bリーグに所属するレバンガ北海道ほか1チームを招聘し、交流戦を開催する。また、地元の子ども達向けに指導教室なども開催予定。
- **みどり公園整備事業 188,961 千円**
 - ・市民の憩いの場としての機能のほか、スポーツ施設の集約化を図るため、カーリング場と屋内多目的運動場を一体的に整備する。
(継続費：平成29～32年度／総額 1,770,109 千円)

Ⅲ 「安心を実感できる市政」

- 地域医療対策推進事業 29,748 千円
 - ・地域医療を守るため、救急医療確保及び開業医誘致の対策を進めていく。
- ④ 災害対策等に係る経費 10,930 千円
 - ・大雨災害対策として、大黒地区チララウスナイ川上流の管路浚渫を行う。
 - また、災害対策用毛布や敷きマットの整備に加えて、30 年度から福祉避難所用備蓄品の整備と、避難所看板の設置を、年次計画を立てて行っていく。
- 緑・富岡環状通街路整備事業 355,399 千円
 - ・29 年度に引き続き第 1 工区の道路整備する。
- ④ 鳥獣被害防止対策事業 13,588 千円
 - ・エゾシカ対策の他、30 年度はアライグマ・キツネの捕獲数の増加に対応するため外部委託を行う。また捕獲業務に必要な無線機器を購入する。
- ④ 廃棄物処理施設建設事業 357,800 千円
 - ・現処分場が平成 32 年 11 月に埋め立て満了となる見込みであることから、P F I 事業により新たな処分場の整備を行う。30 年度は、平成 32 年 12 月供用開始に向けて、施設の本工事に着手する。

IV 「賑わいを実感できる市政」

- ⑨ 「北の桜守」資料展示施設整備に係る経費 17,750 千円
・映画「北の桜守」の撮影ロケセットを資料展示施設として開館、記念してオープンセレモニーを行う。
- ⑨ クルーズ船寄港に要する経費 7,360 千円
・市制施行 70 年・開港 70 年の記念事業として、大型クルーズ船を稚内港に誘致、7月に「ばしふいっくびいなす」・「飛鳥Ⅱ」が寄港することとなり、歓迎セレモニー等を行う。
- ⑨ 日本最北端わっかない平和マラソン大会開催費補助事業 31,204 千円
・市制施行 70 年記念事業として、最北の地におけるフルマラソン大会を開催し、広く「わっかない」を全国に発信する。
- ⑨ 会津若松市交流事業 2,436 千円
・会津藩北方警備ゆかりの地 交流都市共同宣言 10 周年を記念し、利尻町、利尻富士町と合同で、会津若松市の児童を招待し、交流事業を実施する。
- 稚内市子ども芸能祭・南中ソーラン祭開催事業 9,500 千円
・30 年度は 3 年に 1 度の全国大会として、地元だけでなく外部からの参加を募る。
- ⑨ ちょっと暮らし移住体験推進事業 4,218 千円
・市内に新たに体験用の住居を 2 棟（下勇知地区・サラキトマナイ地区）追加し、5 棟体制として移住体験の機会の拡大を図る。

平成30年度 一般会計歳入予算案

(単位：千円、%)

区 分	30年度(A)	29年度(B)	比較(A)－(B)	増減率(%)	(A)の主な内訳
1 市税	4,437,507	4,455,194	▲17,687	▲0.4	市民税 2,219,864/固定資産税 1,476,719
2 地方譲与税	237,640	231,040	6,600	2.9	
3 利子割交付金	6,800	2,500	4,300	172.0	
4 配当割交付金	7,400	5,600	1,800	32.1	
5 株式等譲渡所得割交付金	15,400	7,013	8,387	119.6	
6 地方消費税交付金	750,100	674,300	75,800	11.2	
7 ゴルフ場利用税交付金	2,600	2,400	200	8.3	
8 自動車取得税交付金	68,000	52,200	15,800	30.3	
9 国有提供施設等所在市町村助成交付金	12,563	13,003	▲440	▲3.4	
10 地方特例交付金	11,400	8,400	3,000	35.7	
11 地方交付税	7,081,002	7,195,927	▲114,925	▲1.6	普通交付税 5,981,002/特別交付税 1,100,000
12 交通安全対策特別交付金	6,500	6,500	0	0.0	
13 分担金及び負担金	132,399	145,076	▲12,677	▲8.7	
14 使用料及び手数料	743,149	734,424	8,725	1.2	
15 国庫支出金	2,979,883	2,668,720	311,163	11.7	
16 道支出金	1,232,954	1,100,333	132,621	12.1	
17 財産収入	193,894	194,450	▲556	▲0.3	
18 寄附金	600,400	600,400	0	0.0	まちづくり寄附金 600,000
19 繰入金	1,232,167	1,353,845	▲121,678	▲9.0	日本のでっぺん応援基金 1,020,390
20 繰越金	100	100	0	0.0	
21 諸収入	1,537,842	1,641,675	▲103,833	▲6.3	
22 市債	2,161,300	2,101,900	59,400	2.8	臨時財政対策債 634,700
合 計	23,451,000	23,195,000	256,000	1.1	

平成 30 年度 一般会計歳出予算案

(単位：千円、%)

目 的 別					性 質 別				
区 分	30 年度 (A)	29 年度 (B)	比較 (A) - (B)	増減率 (%)	区 分	30 年度 (A)	29 年度 (B)	比較 (A) - (B)	増減率 (%)
1 議会費	141,927	155,125	▲13,198	▲8.5	人件費	2,404,852	2,444,777	▲39,925	▲1.6
2 総務費	1,966,083	1,920,486	45,597	2.4	うち職員給	1,595,195	1,613,453	▲18,258	▲1.1
3 民生費	5,554,633	5,576,418	▲21,785	▲0.4	物件費	4,026,111	3,823,262	202,849	5.3
4 衛生費	3,030,232	2,645,256	384,976	14.6	維持補修費	108,495	114,277	▲5,782	▲5.1
5 労働費	44,829	46,027	▲1,198	▲2.6	扶助費	4,120,279	4,089,727	30,552	0.7
6 農林水産業費	945,816	730,276	215,540	29.5	補助費等	3,639,473	3,457,930	181,543	5.3
7 商工費	997,931	990,750	7,181	0.7	公債費	3,182,572	3,367,938	▲185,366	▲5.5
8 土木費	2,393,016	2,277,176	115,840	5.1	うち地方債元利償還金	3,179,572	3,362,938	▲183,366	▲5.4
9 消防費	606,922	657,599	▲50,677	▲7.7	うち一時借入金利子	3,000	5,000	▲2,000	▲40.0
10 教育費	2,032,435	2,236,539	▲204,104	▲9.1	積立金	713,277	711,605	1,672	0.2
11 公債費	3,182,572	3,367,938	▲185,366	▲5.5	投資及び出資金	397,849	591,635	▲193,786	▲32.8
12 諸支出金	200,000	200,000	0	0.0	貸付金	1,007,090	1,070,990	▲63,900	▲6.0
13 職員費	2,334,604	2,371,410	▲36,806	▲1.6	繰出金	1,372,809	1,447,925	▲75,116	▲5.2
14 予備費	20,000	20,000	0	0.0	投資的経費	2,458,193	2,054,934	403,259	19.6
					普通建設事業	2,458,193	2,054,934	403,259	19.6
					うち補助事業	1,777,537	1,022,934	754,603	73.8
					うち単独事業	680,656	1,032,000	▲351,344	▲34.0
					予備費	20,000	20,000	0	0.0
合 計	23,451,000	23,195,000	256,000	1.1	合 計	23,451,000	23,195,000	256,000	1.1

※性質別経費については、速報値のため、今後数値に異動を生ずることがあります。

平成 30 年度 一般会計歳出予算案

(単位：千円、%)

節 別					
区 分	平成 30 年度 (A)	平成 29 年度 (B)	比較 (A) - (B)	増減率 (%)	
1 報酬	110,640	108,837	1,803	1.7	
2 給料	1,075,753	1,093,059	▲17,306	▲1.6	
3 職員手当等	831,450	860,194	▲28,744	▲3.3	
4 共済費	449,359	445,282	4,077	0.9	
5 災害補償費	200	200	0	0.0	
7 賃金	432,467	414,602	17,865	4.3	
8 報償費	215,333	213,359	1,974	0.9	
9 旅費	50,766	53,666	▲2,900	▲5.4	
10 交際費	4,437	4,438	▲1	0.0	
11 需用費	849,017	828,248	20,769	2.5	
うち燃料費	259,414	225,338	34,076	15.1	
うち光熱水費	182,286	186,429	▲4,143	▲2.2	
12 役務費	214,008	201,677	12,331	6.1	
13 委託料	2,417,748	2,359,964	57,784	2.4	
14 使用料及び賃借料	271,096	248,086	23,010	9.3	
15 工事請負費	1,491,452	1,325,203	166,249	12.5	
16 原材料費	3,323	3,489	▲166	▲4.8	
17 公有財産購入費	390,937	138,167	252,770	182.9	
18 備品購入費	87,030	75,980	11,050	14.5	
19 負担金補助及び交付金	4,778,153	4,524,353	253,800	5.6	
20 扶助費	3,313,805	3,293,703	20,102	0.6	
21 貸付金	1,007,090	1,070,990	▲63,900	▲6.0	
22 補償補填及び賠償金	68,852	90,699	▲21,847	▲24.1	
23 償還金利子及び割引料	3,197,572	3,382,938	▲185,366	▲5.5	
24 投資及び出資金	397,849	591,635	▲193,786	▲32.8	
25 積立金	713,277	711,605	1,672	0.2	
27 公課費	2,373	2,380	▲7	▲0.3	
28 繰出金	1,057,013	1,132,246	▲75,233	▲6.6	
29 予備費	20,000	20,000	0	0.0	
合 計	23,451,000	23,195,000	256,000	1.1	

『各資料については、計数整理の結果、異動を生ずることがあります。』